

# Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 為替週間展望 = ドル円は103～104円台で上値の重い展開か

[11月9日からの1週間の展望]

週間高低 (カッコ内は日)		11月2日～11月6日			
	始値	高値	安値	終値	前週比
ドル・円	104.55	105.34(4)	103.36(6)	103.56	-1.10
ユーロ・ドル	1.1655	1.1860(5)	1.1603(4)	1.1823	+0.0176
=====					
国内株・金利/米国株・金利					
	終値	前週末比	終値	前週末比	
日経平均株価	24,325.23	+1348.10	日本10年債利回り	0.020	-0.022
ダウ平均株価	28,390.18	+1888.58	米10年債利回り	0.763	-0.111
=====					

<来週の主要経済統計等>

- 9日 日本9月景気動向指数速報値  
スイス10月雇用統計  
独9月貿易収支、独9月経常収支
- 10日 日本9月経常収支  
中国10月消費者物価指数、中国10月生産者物価指数  
英10月雇用統計  
独11月ZEW景況感指数
- 11日 NZ準備銀行(RBNZ)政策金利  
米MBA住宅ローン申請件数  
米国はベテランズデーで債券市場は休場
- 12日 日本9月機械受注高  
独10月消費者物価指数確報値  
英9月鉱工業生産指数、英9月製造業生産指数、英9月貿易収支  
英第3四半期国内総生産(GDP)速報値  
ユーロ圏9月鉱工業生産指数  
米10月消費者物価指数、米新規失業保険申請件数  
米10月財政収支
- 13日 スイス10月生産者・輸入価格  
ユーロ圏9月貿易収支  
ユーロ圏第3四半期域内総生産(GDP)改定値  
米10月生産者物価指数  
米11月ミシガン大学消費者信頼感指数速報値  
EU財務相理事会

【前回のレビュー】米大統領がすんなり決まれば金融市場も短期間で落ち着きを取り戻しそうだが、そうでない場合は、市場の混乱が続いて円買い圧力が強まりそう。米大統領選の混乱などが見込まれる中、ドル円は上値の重く推移して、104円台を中心とするもみ合いになるとした。

【米大統領選の混乱は続く】

現職のトランプ米大統領と民主党のバイデン候補による米大統領選挙は3日に投票が行われて、日本時間に4日に順次開票作業が始まった。バイデン候補が差をつけて勝るとの予想に反して、トランプ米大統領が善戦したことで大接戦となった。その後、バイデン候補優勢で進んでいるものの、日本時間の6日にもまだ決着がついていない。

郵便投票の集計の影響もあり、集計作業が終了するにはまだ数日を要するとみられ

る。仮にバイデン候補の勝利となったにしても、郵便投票の不正などを主張して、トランプ米大統領が訴訟に持ち込む可能性も高く、正式に大統領が決定するにはまだ時間がかかりそうな情勢だ。

そうした中、米大統領選を挟んで米国株は上昇を見せた。NYダウは2日に423ドル高、3日に554ドル高、4日に367ドル高、5日には542ドル高と連日で大幅高となっている。米株高はドル売りの動きにつながりやすい。円も売られるものの、ドル売りの勢いの方が強いケースが多く、ドル円は上値を抑えられやすくなっている。

4～5日に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）では金融政策に変更はなかった。政策金利は据え置きとなり、国債などの資産買い入れは月額1200億ドルで維持される。声明では経済活動や雇用は回復を見せているものの、新型コロナ前の水準を下回っているとしている。パウエル議長の記者会見では、「回復のペースは緩やか」「米国経済の先行きは新型コロナの影響に左右される」などと述べた。市場にはあまり目立った影響はなかった。

ドル円は米大統領選の前後で、米株高を受けてリスク選好の動きからドル売りとなっている。ドル円は4日に105円台に乗せる場面も見られたものの、その後は売りに押される格好となり、5日の海外市場では103円台までドル安円高が進行している。

米大統領選後の混乱はしばらく続く可能性がある。米議会選挙では下院は民主党が制するとみられるが、上院は共和党が多数派を維持する見通しと報じられている。民主党が主張している巨大IT企業などへの規制導入の可能性は低下するとの期待感などから米国株は堅調であり、ドル売りの流れが続きやすいとみられる。円も売られやすいものの、ドル売りの動きに押されてドル円は103～104円台で上値の重い展開となりそうだ。ドル円の目先の予想レンジは、102.75～105.50円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、9日に日本9月景気動向指数速報値、10日に日本9月経常収支、11日に米MBA住宅ローン申請件数、米国はベテランズデーで債券市場は休場、12日に日本9月機械受注高、米10月消費者物価指数、米新規失業保険申請件数、米10月財政収支、13日に米10月生産者物価指数、米11月ミシガン大学消費者信頼感指数速報値などがある。

#### 【ドル売りの影響でユーロドルは上昇に転じる】

米大統領選の前から米国株の上昇が続いており、それに伴いリスク選好のドル売りの動きとなっている。対ユーロでのドル売りの流れから、ユーロドルは上昇基調で推移しており、2日に1.1623近辺まで下落した後、5日には1.18ドル超まで上値を伸ばしている。

欧州では、フランス、ドイツなどでのロックダウンの再導入による行動制限の景気への悪影響が警戒されるものの、今は米国株の動向を眺めてのドルの動きに左右されやすい展開が続いている。米大統領選を受けての混乱が落ち着きを見せた後は、ユーロ高の動きも一服して、ユーロドルは1.16～1.18ドル台を中心とするレンジ相場で推移するとみられる。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.1600～1.1900ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、9日にスイス10月雇用統計、独9月貿易収支、独9月経常収支、10日に中国10月消費者物価指数、中国10月生産者物価指数、英10月雇用統計、独11月ZEW景況感指数、11日にNZ準備銀行（RBNZ）政策金利、12日に独10月消費者物価指数確報値、英9月鉱工業生産指数、英9月製造業生産指数、英9月貿易収支、英第3四半期国内総生産（GDP）速報値、ユーロ圏9月鉱工業生産指数、13日にスイス10月生産者・輸入価格、ユーロ圏9月貿易収支、ユーロ圏第3四半期域内総生産（GDP）改定値、EU財務相理事会などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買についての判断は自己責任でお願いします。

---

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。